

市民百景

第34回

熊との遭遇を防ぐために

一人一人ができる備えを万全に

釜石大槌猟友会 会長 岩崎 政夫さん (73)



24歳頃から約50年にわたり猟友会の活動が続けてきた釜石大槌猟友会会長の岩崎さん。近年、市街地や住宅地の近くで熊を見かける機会が増えている背景を「環境の変化によって山の中の餌が少なくなると、熊が食べ物求めて人里へ下りてきているのではないか」と話します。

特に秋は、熊が冬眠に向けて活発に餌を探す時期です。柿やリンゴなどの果実、生ごみ、米ぬかなどは熊を引き寄せる原因になるため、放置しないことが重要です。「熊の餌になるものを残さないことが一番大切」と岩崎さん。実のなつた木は早めに収穫し、不要な果実は適切に処分する他、匂いの強いものはしっかり密閉するなど、対策を呼び掛けています。

また、散歩や農作業、山に入る際には、熊鈴や携帯ラジオなどで音を出し、人の存在を熊に知らせることも有効です。「熊はやぶや草むらから突然現れることがあります。自宅周辺の草木をこまめに刈り、見通しを良くしておくことも大切。熊と鉢合わせないための備えを心掛けてほしい」と注意を促します。

身近な場所でも熊と遭遇する可能性がある今、一人一人が正しい知識を持ち、日頃からできる対策を心掛けることが大切です。実りの秋を安全に過ごすためにも、熊を引き寄せない環境づくりと、万一来った対策を心掛けましょう。



「すこやかアイドル」では、お子さんの笑顔とご家族のメッセージを紹介します。1～5歳くらいのお子さんの写真を広報に掲載しませんか？
市オープンシティ・プロモーション室（☎27-8463）または市のホームページからご連絡ください



熊谷 旭くん (5歳)
薫くん (2歳)

これからも色々な
楽しいことを
経験しようね！



平野 大晴くん (1歳)
すくすく育て
沢山遊ぼうね！

